

## 意見発表者5(会場③埼玉県さいたま市)

### 意見の概要

ハッ場ダムの建設予定地には、名湯川原湯温泉があり、また、すぐ下流には吾妻溪谷という大事な宝がある。このあたりには、日本の原風景ともいえる貴重な里山も残っていたが、もうほとんど壊されてしまった。

一方で、ハッ場ダムの計画は、計画された当初は最新の技術だったかも知れないが、60年経った今は、やはり、時代遅れといわざるを得ない。

ダムによる治水はギャンブル的であり、また、日本や世界の各地でダムがの放流、決壊により大きな災害を生んでいる。

ダムをつくることよりも、洪水が起きそうな場所には住宅をおかない、住民は避難ができるようにしておくことが重要ではないだろうか。

利水では、水をためること以上に、水を大事に使うことが求められる。

とくに首都圏では、現在、ダムを新たに作るほど水不足は深刻という印象はない。

過去では、自然を破壊し、人間に都合のいいように作り替えることによって、私たちの生活を守ろうとしてきたが、これからは、人間が歩みより、自然の動きにあわせて柔軟に生きていかなければいけない。